指導と評価の年間計画（シラバス）

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	4	第３学年	東京書籍「Power On English Communication Ⅲ」 同ワークブック 「英文読解Ｇトレ」(アルク) 「NEWSBREAKS」(エミル)

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅲの授業は、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の力をつける授業です。そのため、聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。授業では積極的に活動に参加しましょう。

・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。

・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

2　学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅲ」（４単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書のワークブック、読解・音読教材、多読教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ発表することができる。 ・身近な問題であれば要点をまとめながら１分間程度で話すことができる。	コミュ英Ⅲ プレゼンテーション・スピーチ	・与えられたテーマについて論点や根拠などを明確にしながら書くことができる。 ・文章の構成を意識して書くことができる。 ・説明や描写の表現を工夫して相手に伝わるように書くことができる。	コミュ英Ⅲ ライティング課題 定期考査	・まとまった文章を聞いて情報や考えなどの概要を正確に理解することができる。 ・教師による英語でのまとまりのある発話を理解することができる。	コミュ英Ⅲ リスニングテスト 定期考査	・パラグラフのつながりや文章全体の構成を理解して読める。 ・説明、評論、物語、随筆などを読み情報を正確に理解できる。	コミュ英Ⅲ リーディングテスト 音読テスト 定期考査

3　学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Unit 1 Lesson １～５ (10 時間)	短めの説明文読解を通して以下のリーディングスキルを身に着ける。 文の構成（主語と述語動詞)、パラグラフ構成、文章の構成、ディスコースマーカーに着眼する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシート提出時に内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・短い英文を読み、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことに基づき、自分の意見をまとめて話そうとする。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて、自分の将来の夢について伝え合う。	・短い英文を読んで、その内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、自分の考えを話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・英語での問いに、英語で答えることができる。	・True or False？や Activity の設問に正しく答えることができる。	・内容を考えながら、抑揚を付けてしっかりと音読できる。	・定期考査の筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・様々な題材の英文を読むことを通じて、社会の出来事に関心を持ち、教養を深める。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・ディスコースマーカーの使い方を理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 6 (8 時間)	異文化理解 （論説文） ハロウィンの起源となる古代ケルト人の祭事について知る	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・ハロウィンの起源についての説明を読んで、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことに基づき、自分の意見をまとめて話そうとする。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて、まとめた内容について伝え合う。	・内容の要点を正確に捉え、整理し、それをまとめて書くことができる。 ・読んだことについて、他者に分かりやすく話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・英語での問に自分の英語で答えることができる。	・CD を聴いて概要を捉えた後に質問に答える。	・未知語を予想しながら読むことができる。	・定期考査の筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・ハロウィンの起源となるケルト人の祭事について、本文の内容にそって、説明することができる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・付帯状況の with について理解している	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 (8 時間)	科学 （エッセイ） イグ・ノーベル賞を受賞したユニークな研修内容を知るとともに、イグ・ノーベル賞の意義について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・イグ・ノーベル賞についてのエッセイを読んで、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことに基づき、自分の意見をまとめて話そうとする。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・内容の要点をまとめてワークシートに書く。	・内容の要点を正確に捉え、整理し、それをまとめて書くことができる。 ・読んだことについて、他者に分かりやすく話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・一部聞き取れないところがあったとしても、全体の流れをしっかりと音声から理解できる。	・Q&A などにより本文を読み進めながら内容を理解する。	・未知語を予想しながら読むことができる。	・定期考査の筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・イグ・ノーベル賞の意義と日常生活において最も重要な発明について、本文の内容にそって、説明することができる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・対比を表す while を理解し、適切に使うことができるか	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 8 (8 時間)	生き方・自然 （人物伝） アラスカの原野でたった一人で撮影に臨む写真家松本紀生さんの生き方に学ぶ	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・写真家松本紀生さんについて読み、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことに基づき、自分の意見をまとめて話そうとする。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて、本文の内容について伝え合う。	・読んだ内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、内容について話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・英語での問に自分の英語で答えることができる。	・ CD を聴いて概要を捉えた後に質問に答える。	・未知語を予想しながら読むことができる。	・定期考査の筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・松本紀生さんについてインターネットなどで調べたことや、彼の写真を見ての感想等をまとめて、発表することができる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・関係代名詞 what の使い方を理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 (8 時間)	食文化・歴史 （論説文） 紅茶がどのようにイギリスの伝わり、イギリスとそこにかかわる国々の歴史にどのような影響を与えたのかを知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・紅茶の歴史についての説明を読んで、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことに基づき、自分の意見をまとめて話そうとする。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて、源氏物語の世界について伝え合う。	・読んだ内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、内容について話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・True or False?や Activity の設問に正しく答えることができる。	・ Q&A などにより本文を読み進めながら内容を理解する。	・ポイントとなるディスコースマーカーなどを意識して読むことができる。	・定期考査の筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・紅茶（イギリス文化）と緑茶（日本文化）を比較して、似ている点と異なる点を報告することができる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・when(while)~ing の表現を理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 10 (8 時間)	環境・日常生活 （論説文） 人間の体にとって大切な水を私たちがどのように補給しているか。また乾燥した砂漠にすむ動物たちにおいてはどうか。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・水分摂取と健康についての説明を読んで、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことに基づき、自分の意見をまとめて話そうとする。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて、空気自動車について伝え合う。	・読んだ内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、内容について話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・ True or False?や Activity の設問に正しく答えることができる。	・ Q&A などにより本文を読み進めながら内容を理解する。	・ポイントとなるディスコースマーカーなどを意識して読むことができる。	・定期考査の筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・健康であるために日常的にどのように水分をとっているかについて紹介することができる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・否定を表す形容詞・副詞（little, seldom, hardly など）の使い方を理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Unit３ Lesson 11 (８時間)	学習・科学 （論説文） 歴史に名を遺す人物がどのように偉業を成し遂げたのかについて読み、自身の目標実現に向かって何ができるかについて考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・モーツァルトとビルゲイツのそれぞれの物事への取り組み方を口頭で要約する。 ・読んだことに基づき、自分の意見をまとめて話そうとする。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて、空気自動車について伝え合う。	・読んだ内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、内容について話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・ True or False?やActivity の設問に正しく答えることができる。	・ Q&A などにより本文を読み進めながら内容を理解する。	・ポイントとなるディスコースマーカーなどを意識して読むことができる。	・定期考査の筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・自身の目標実現に向かって何ができるかについて考え、具体的な行動計画を立ててみる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・to + have + 過去分詞の使い方を理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 12 (8 時間)	生き方・人権 （人物伝） アメリカの奴隷制度下における奴隷のための「地下鉄道」とは何だったのか、また奴隷達のために命がけで戦ったハリエット・タブマンの功績について知る	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・「地下鉄道」についての説明を読んで、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことに基づき、自分の意見をまとめて話そうとする。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて、本文の情報について伝え合う。	・読んだ内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、内容について話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・各パラグラフ内の英文を正確に理解することができる。	・ CD を聴いて概要を捉えた後に質問に答える。	・未知語を予想しながら読むことができる。	・定期考査の筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・ハリエット・タブマンの功績に学び、信念を貫くことについて、自分の意見を述べることができる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・関係代名詞の非制限用法の使い方を理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 13 (8時間)	言語・国際社会 （論説文） 増えていく英語の語彙についての歴史や語形成の仕組みについて知る	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・グループ・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらグループで伝え合う。	・グループ・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・グループでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・英語の語彙の歴史について読み、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことに基づき、自分の意見をまとめて話そうとする。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・グループで、メモに基づいて、本文の内容について伝え合う。	・読んだ内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、内容について話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・各パラグラフ内の英文を正確に理解することができる。	・ CD を聴いて概要を捉えた後に質問に答える。	・未知語を予想しながら読むことができる。	・定期考査の筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・ラテン語やギリシャ語に起源を持つ英語をいくつか調べ、相手に説明することができる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・助動詞 might の使い方を理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 14 (8時間)	生き方・環境 （スピーチ） ホセ・ムヒカ大統領の生き方や考え方から学ぶ	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・グループ・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらグループで伝え合う。	・グループ・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・グループでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・ホセ・ムヒカ大統領についての説明を読んで、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことに基づき、自分の意見をまとめて話そうとする。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・グループで、メモに基づいて、自分の将来の夢について伝え合う。	・読んだ内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、内容について話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・グループ活動において他者の意見を聞き議論することができる。	・ Q&A などにより本文を読み進めながら内容を理解する。。	・ポイントとなるディスコースマーカーなどを意識して読むことができる	・定期考査の筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・ホセ・ムヒカ大統領の生活の様子や考えたから、「豊かさ」とは何かについて自分の意見を書くことができる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・強調構文の使い方を理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 15 (8時間)	動物 （エッセイ） イヌの習性について知り、共生を考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・グループ・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらグループで伝え合う。	・グループ・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・グループでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・イヌの習性と人間との共生についての説明を読んで、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことに基づき、自分の意見をまとめて話そうとする。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・グループで、メモに基づいて、文化の違いについて伝え合う。	・読んだ内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、内容について話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・グループ活動において他者の意見を聞き議論することができる。	・直読直解の技能獲得に向けて努力している。	・未知語を予想しながら読むことができる。	・定期考査の筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・飼い主がどのような視点でペットと向き合うべきかについて本文の内容にそって、簡潔に説明することができる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・as if 仮定法の使い方を理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。